

平成29年度第2回県南広域振興圏 文化芸術活動支援ネットワーク会議の開催結果

1 趣 旨

4 広域振興圏において、文化芸術活動や鑑賞等を地域全体で支援、活性化するため、文化芸術関係機関相互の連携及び地域の文化振興を目的とした機能強化等の基盤となる人的ネットワークを形成しようとするもの。

2 開催結果

開催日時 平成30年2月2日（金）13:30 から 15:45 まで

開催場所 奥州地区合同庁舎 分庁舎大会議室

参加者数 21名（事務局を含む）

開催内容 **報告事項**

（1）前回（平成29年度第1回）文化芸術活動支援ネットワーク会議の報告

（2）文化芸術コーディネーター活動事例報告

事業紹介

胆沢文化創造センター「キッズ☆ドリームステージ」

意見交換

（1）文化芸術活動に関する情報活用について

（2）各市町、文化芸術関係団体等間のネットワークづくりや課題について

情報交換

今年度、予定されている文化芸術関係行事・イベントについて

その他

文化振興基金について

3 意見交換の内容

（1）文化芸術活動に関する情報活用について

- ・ 参集者から集めたアンケート結果（別紙）を報告。特色は次のとおり。（KDN）
 - ①情報発信によく利用する情報ツールは、第1位がポスター・チラシ、第2位が広報・機関誌、第3位がホームページ・ブログ。
 - ②情報収集によく利用する情報ツールは、第1位がホームページ・ブログ、第2位が新聞・雑誌、第3位が利用者アンケートとポスター・チラシ。
 - ③情報収集ではホームページを最も多く使うのに、情報発信ではホームページが第1位ではないという矛盾。
 - ④いわての文化情報大事典は、情報の受発信ともにほとんど利用されていない。
 - ⑤アンケート以外の情報ツールとしては、舞台情報サイト（ネットメディア）や人（家族、知人、他）がある。（銀河ホール）
- ・ 情報収集の習慣とリテラシーを身に着ける必要あり。情報発信は発信主体を明確にして信頼をえること。情報（チラシ等）そのものに価値があることが重要。（銀河ホール）
- ・ SNSへの情報掲載はスピードが大切。写真の使用許可や制限にも注意が必要。（Zホール）
- ・ すべての事業にアンケート調査を実施し、次の事業の計画に活かしている。（さくらホール）

（2）各市町、文化芸術関係団体等間のネットワークづくりや課題について

◇ネットワークにより取り組みたい事項

- ・ 情報の共有。事例紹介（具体的な内容、補助金活用、情報発信の方法）（北上市）
- ・ 各市町、団体で協力して行う事業などの検討、ワークショップ形式での研修の実施、県外の特徴ある芸術文化の取り組みを題材とした勉強会の開催。（金ヶ崎町）

- ・情報収集する側の目線を重視した文化事業のメディア活用の勉強会等。(銀河ホール)
- ・県内に留まらない展開を視野に入れた連携型の交流、創造発信事業。他県からの刺激も有効である。(銀河ホール)
- ・地域や住民を巻き込んだ事業の事例紹介、補助事業の紹介、補助金申請に役立つ情報(採択の裏事情や助成元の情報等)の紹介(胆沢文化創造C)
- ・学校等との連携や児童、生徒、教職員の参加促進に関する事業。文化センターが出会いの場ではなくなってきた。(胆沢文化創造C)

◇コーディネーターに期待したいこと

- ・各団体、各市町の相談に対応し、児童生徒がより多くの文化芸術に触れる機会を提供していただければありがたい。(県南教育事務所)
- ・各市町や団体で実施している特色ある事業などの紹介や、連携のつなぎ役など。(金ヶ崎町)
- ・メーリングリスト作成等、各館の事業周知や情報交換、何気ない相談の出来るプラットフォームづくりによる透明性の向上。(銀河ホール)
- ・事前の情報発信(前パブ)は欠かせないが、実は事後の報告発信(後パブ)も重要。(KDN)
- ・いわて文化情報大事典がリニューアルされるため、プラットフォームを要望したが、予定に組み込まれなかった。必要であれば、ホール間でアクセスする情報バンクのようなものを作ってみようと思っている。(KDN)
- ・採択される補助金の申請方法を教えてほしい。(胆沢文化創造C)
- ・他の広域振興圏の活動を参考にして、県南広域振興圏の文化芸術コーディネーターを活用してほしい。(県南広域振興局)

4 参加者アンケートの内容(回答数16)

◇ネットワーク会議の感想 とても有意義(6) まあまあ有意義(10) 有意義に感じない(0)

◇ネットワーク会議の望ましい開催時期 4~6月(8) 7~9月(7) 10~12月(3) 1~3月(3)

◇年間の開催回数 1回(4) 2回(10) 4回(1)

◇参集者(構成員)の範囲

市町村(13) 教育事務所・教育委員会(10) 広域振興局(9) 公立文化施設・観覧施設(11)
 芸文協・会員団体(10) 商工会議所・商工会(4) 文化芸術NPO団体(10) 観光協会関係(5)
 民俗芸能団体(3) 公民館関係(2) 会議の目的によって参集者は決まる(1)

◇ネットワーク会議で取り上げてほしい内容

- ・関係団体のホームページURLとアクセス数、各事業の参加者(来客)数を知りたい。
- ・コーディネーターを活用した事業を紹介してほしい。
- ・県南以外や県外の事例を知りたい。
- ・公文協の会議とは違う得るものがほしい。(公文協加盟団体)
- ・企画の組み立て方を知りたい。(助成金申請を解きほぐす意味で)
- ・若者の興味や関心の方向性を知りたい。

◇文化芸術振興に対する意見・質問・要望等

- ・意見交換事項については、事前に参集者に状況や情報提供を求めた方が良い。
- ・活動内容を聞いて良かった。
- ・演劇の話題が多いと思った。
- ・市民町民劇場等を見られるサイトをホールが連携して作れると良い。
- ・より多くの参加を希望する。
- ・たくさん意見交換をしたい。